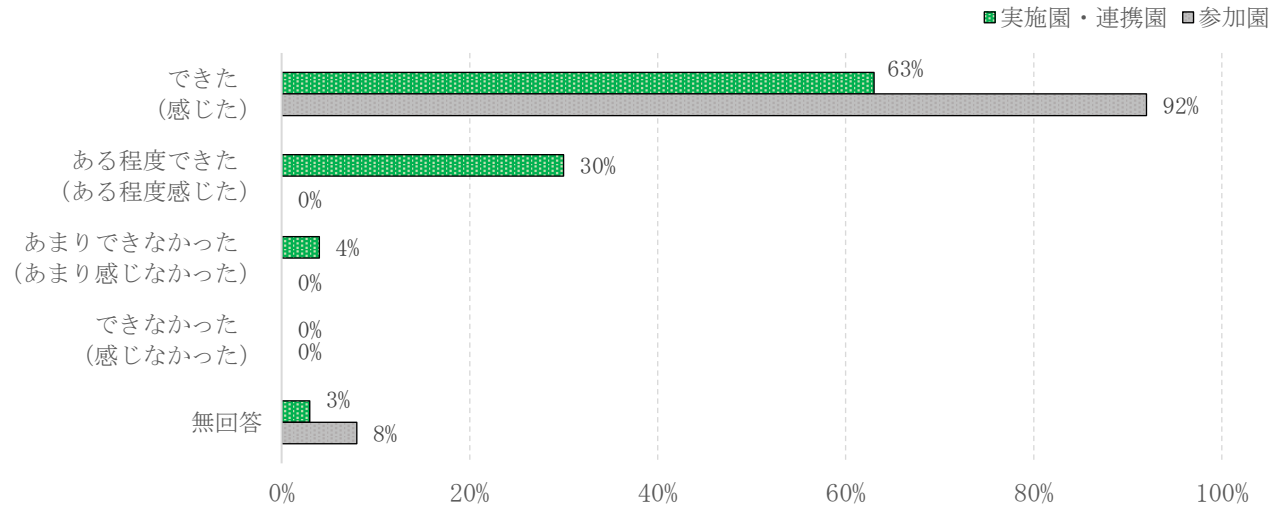
資料３

令和３年度公開実践のアンケート結果等

１　・　意見交流したい内容に沿って、「公開実践」をすることができましたか。（実施園・連携園）
　　・　意見交流したい内容に沿った保育が行われていると感じましたか。（参加園）

⑴ 回答



⑵ 意見・感想

【実施園・連携園】

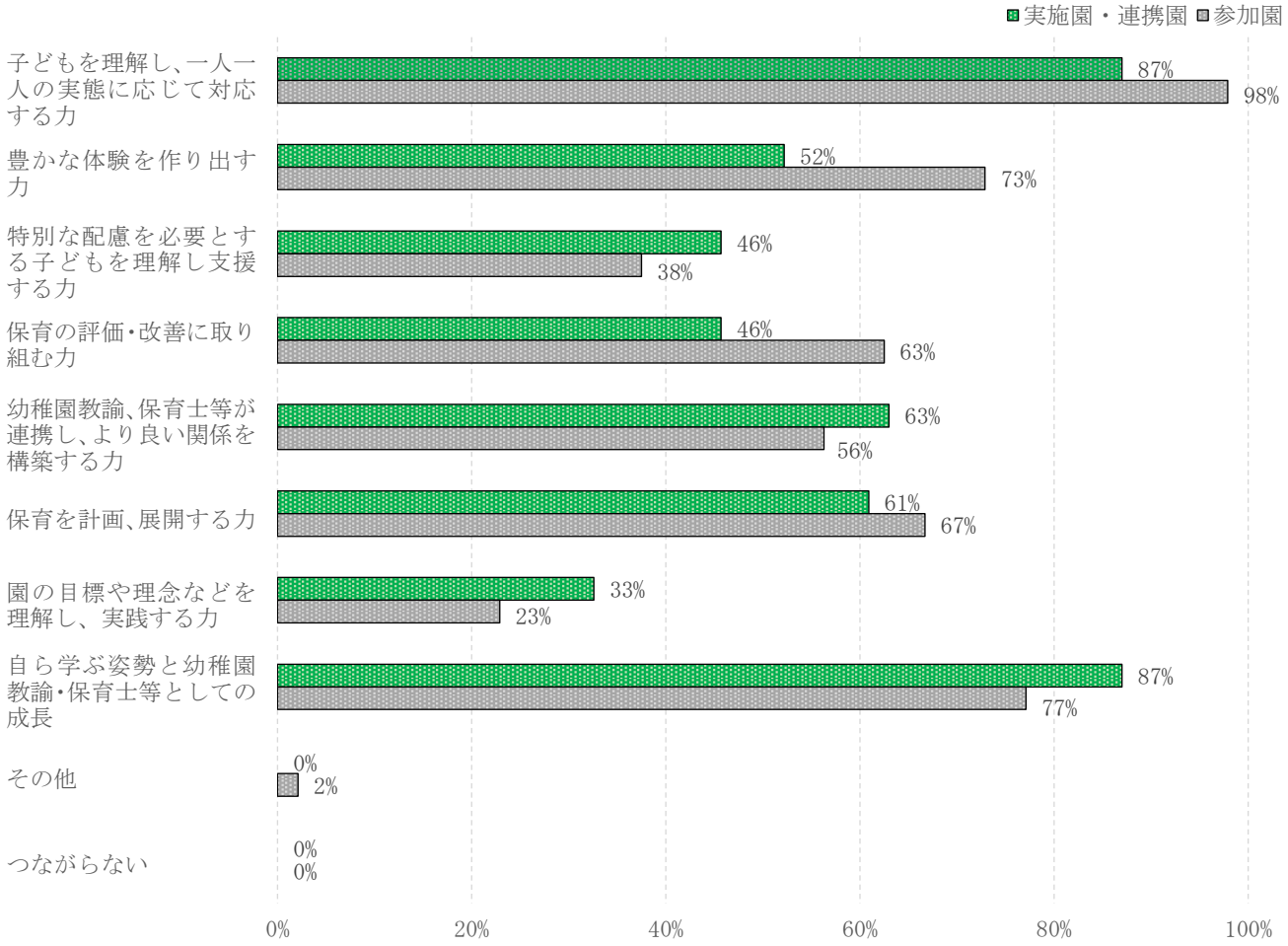
- 意見交流したいポイントが分かりやすく、意見交流で保育の視点を共有できた。
- 資料があったことで、ポイントを絞った意見交流ができ有意義だった。
- 見てもらいたい子どもの姿に沿って公開実践ができ、子どもの主体的な姿を見てもらえた。
- 少人数で意見を出しやすく、話し合いがスムーズであった。
- 話し合いの経験のある方が多く、活発に意見交流できた。
- 全員に発言してもらうことはできたが、協議（意見交流）時間が短かった。
- 保育があるため、協議（意見交流）に参加できなかった。

【参加園】

- 主体性という観点で、一人一人の子どもの思いを尊重した時間が過ごせていると感じた。
- 子どもの姿を通して、保育者が子どもと１年間どのように関わってきたのかよく分かった。
- 保育への思い、環境の意図について知ることができた。
- 子どもに対する温かなまなざしが、子ども主体の保育につながっていくことが分かった。

２　・　「公開実践」を実施していくことで、幼稚園教諭・保育士等としてどのような資質・能力の向上につながると思いますか。（実施園・連携園）
・　「公開実践」は、幼稚園教諭・保育士等としてどのような資質・能力の向上につながると思いますか。（参加園）

⑴　回答



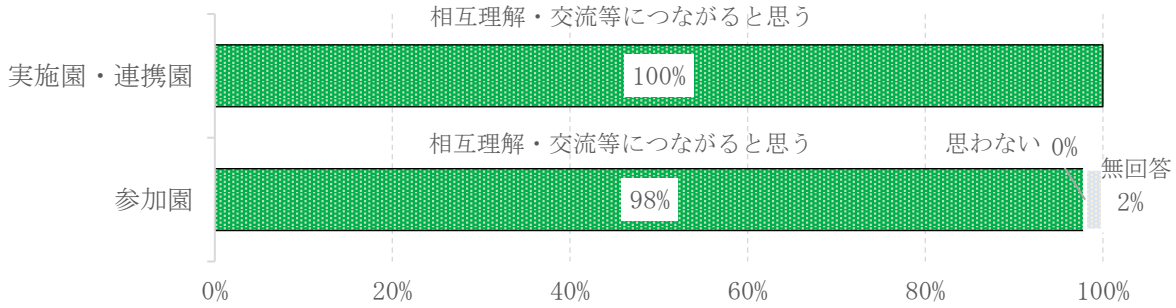
⑵　意見・感想

【実施園・連携園】
・　園種の異なる幼稚園教諭・保育士等に保育を見てもらい、新しい気付きや見方を得ることができた。
・　遊びの内容や環境構成について客観的な意見を聞き、勉強になった。
・　子どもの気持ちや行動など、保育者自身が気づかなかったことを発見できた。
・　子どもを中心とした語り合いが資質向上につながると実感した。

【参加園】
・　保育者が子ども主体の保育となるよう関わることで、子どもの姿が変わると感じた。
・　様々な視点から保育を見ることができ、また、他園の取組を知ることができた。
・　意見交流を通して、子ども理解がより深まった。
・　環境の工夫や活動のねらい、そこに向かう子どもの姿など具体的に話を聞くことができた。
・　自分の保育を振り返り、実践したいと思うことが多くあった。
・　自園の保育しか知らないと、固定概念や義務感が生まれ、よりよい保育を築くことの妨げとなる可能性があると感じた。

３―１　・　「公開実践」は、他の園との相互理解・交流等につながるものだったと思いますか。（実施園・連携園、参加園）

⑴　回答



⑵　意見・感想

【実施園・連携園】

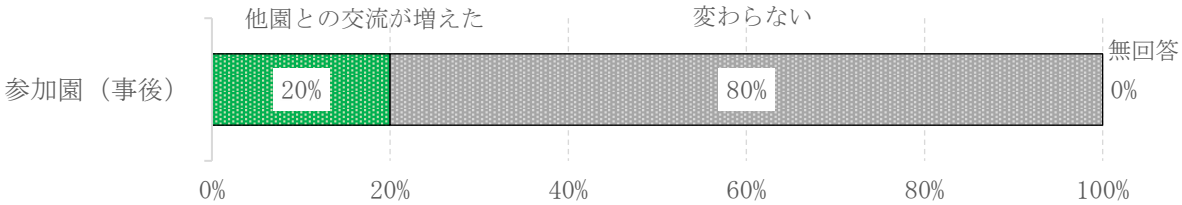
- よい雰囲気でカンファレンスを行えた。
- 各園のよさや違いについて話すことができた。
- 各園の実態や課題を知ることができた。
- 接する機会の少ない園の先生同士が話す機会となり貴重だった。
- どのように子どもを見ているかについて話すことを通して、互いを理解し合うことができるので、広島市全体の質の向上となると思う。

【参加園】

- 意見交流を通して、子どもへの思いは同じ方向を向いていることを実感できた。
- 他園の保育を見て意見交換ができ、貴重な経験となった。
- 子どもの姿を語り合うと相互理解につながると感じた。
- 幼稚園も保育園も育みたい資質・能力は同じであると感じた。

３－２　・　「公開実践」に参加して以降、実施園・連携園や他の参加園との交流は増えましたか。（参加園・事後）

⑴　回答



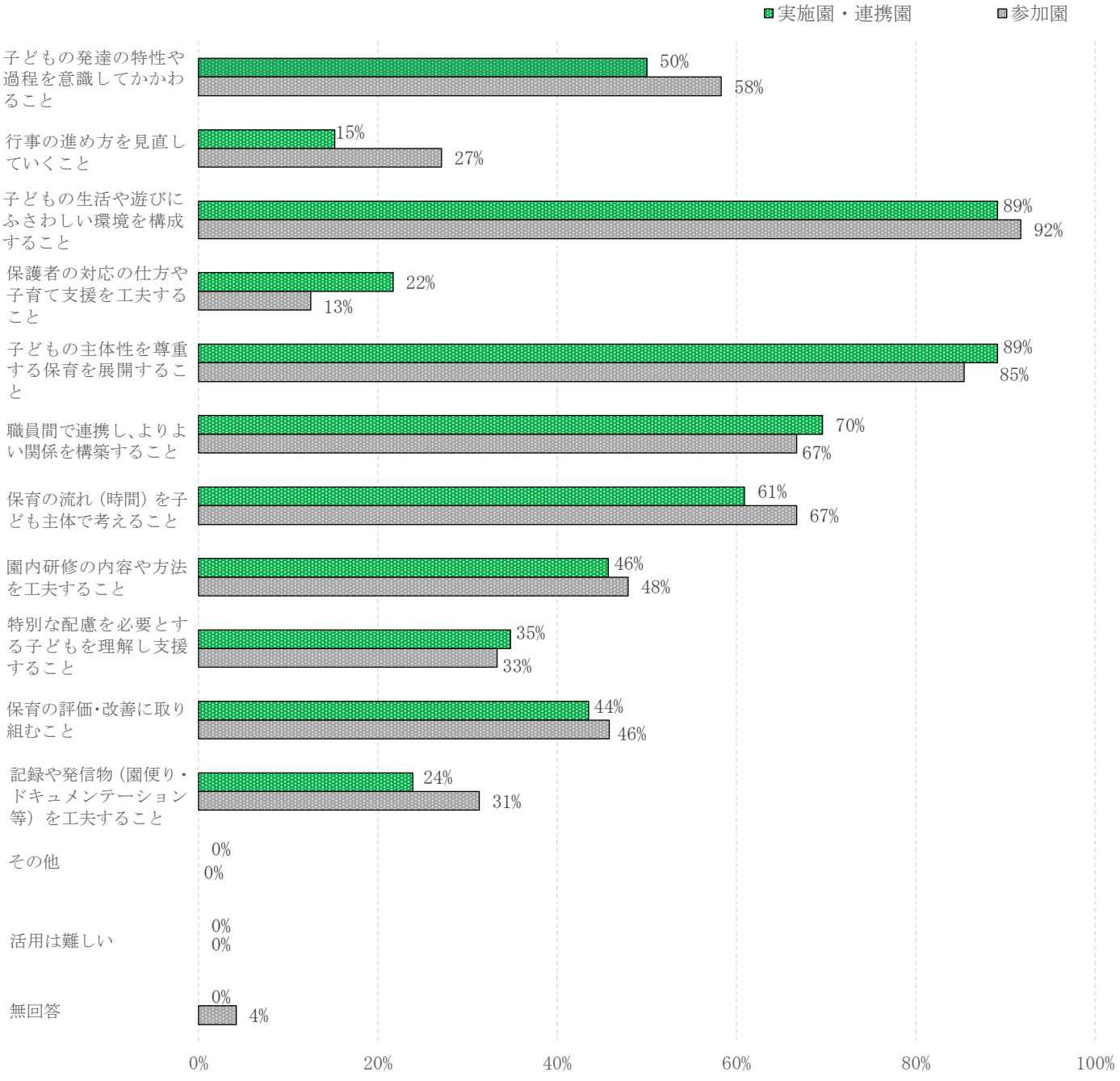
⑵　意見・感想

【参加園】

- 近隣園と「子ども主体の保育」を進めていけるように連携したい。
- 保育施設が一丸となり学び合う機会に感謝している。

４－１　・　「公開実践」を通して、今後、自園・自身の保育にどのようなことが活用できると思いますか。（実施園・連携園、参加園）

⑴　回答



⑵ 意見・感想

【実施園・連携園】

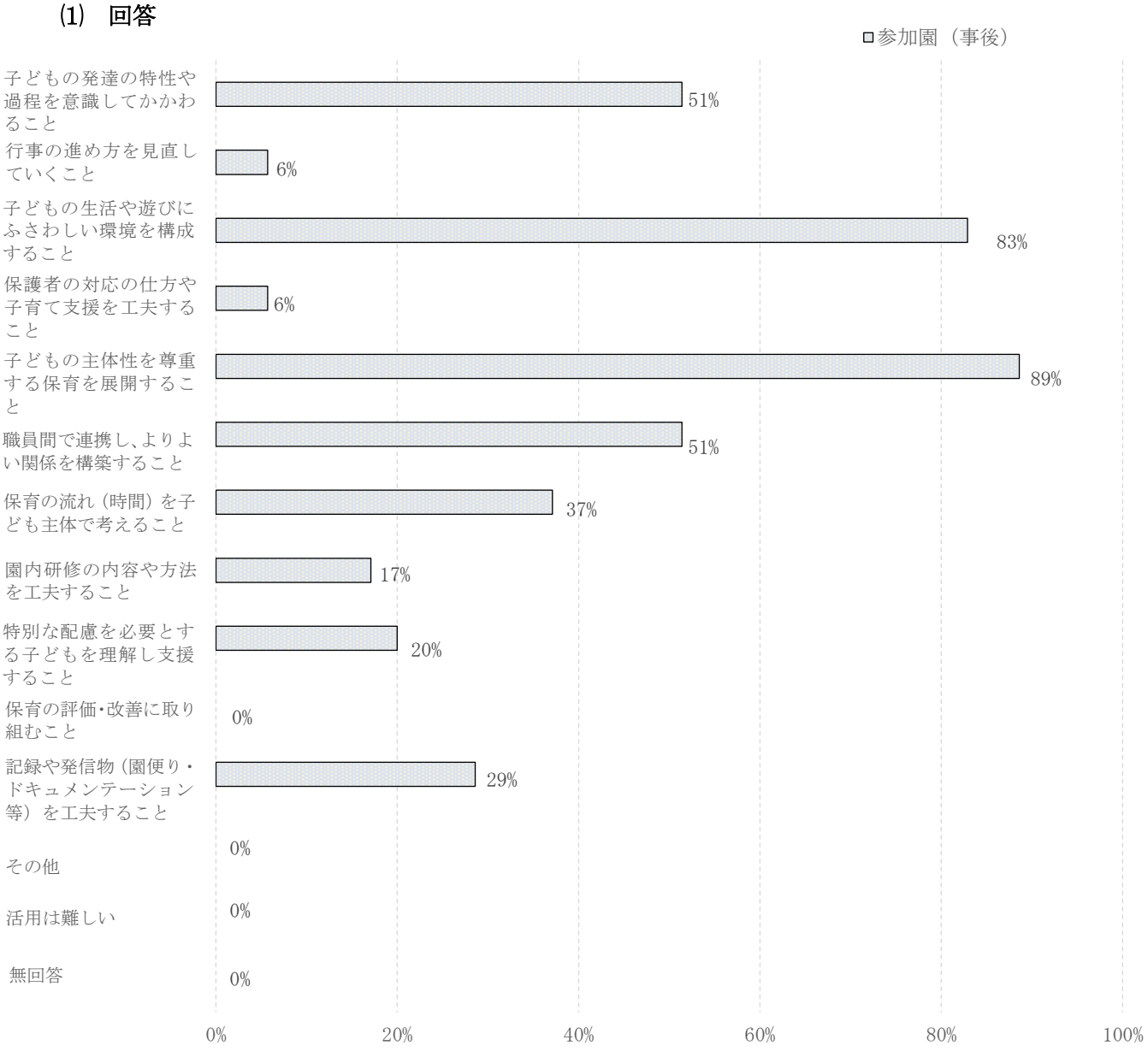
- 子どもが主体的に選べる環境について考えていきたい。
- 職員間で保育の展開、環境や子どもの姿について語り合いを重ねることができた。
- 職員間で振り返ることや連携を密にすることなど、公開実践で学んだことを活かしたい。
- 公開実践の報告が、他の職員に肯定的に受け止められ、担任が認められる機会になった。
- 保育や援助の当たり前を見直し、新しい見方や考え方をすることができた。

【参加園】

- 子どもの穏やかな口調から、先生方が言葉掛けを大切にして関わっていることを感じた。
- 子どもの姿を予想した保育環境の設定や必要な準備、その示し方が大切だと感じた。
- 子どもの思いや願いを踏まえた保育の展開が参考になった。
- 子どもの主体性を大切にすると、子どもの姿が変わっていくと感じた。
- 園での時間は、子どもの「やりたい」という思いを尊重されていた。
- 一人一人の子どもを理解しようとする姿勢が大切だと感じた。

４－２　・　「公開実践」に参加後、自園・自身で活用した内容を教えてください。（参加園・事後）

⑴　回答



⑵　意見・感想

【参加園】

- 子どもの月齢や動線に応じた環境構成について話し合い、改善した。
- 遊びに子どもの意見やアイディアを取り入れ、充実感を得られるようにした。
- 子どものやりたいことを受け止めるために、クラスでの話し合いの時間を増やした。
- 子どもが好きな遊びを選び、集中して遊べるように保育室の環境を見直し、改善した。
- 職員間で子どもの様子を共有するように心がけた。
- 子どもの思いを反映させた遊びの時間を重視するようにした。
- 園内で公開保育の機会をつくり、保育を見合った。
- 子どもに寄り添った手立てなどについて考えるようになった。
- 日々の保育を振り返り、今後の保育内容に生かした。
- 子どもの様子や取組をドキュメンテーション等で保護者に提示できるようにした。
- 公開実践の写真を他の職員と共有し、保育や環境の改善について話し合った。

５　・　「公開実践」に今後も参加したいですか。（参加園・事後）

⑴　参加園の回答

選択肢	割合
参加したい	100.0%
自園でも実施したい	(8.6%)
参加する予定はない	0.0%
無回答	0.0%

⑵　意見・感想

【参加園】

・　子どもについて一緒に語ると保育の楽しさを感じるので、他の職員にも伝えたい。
・　参加を重ねると、職場の語り合いの風土ができ、意見を出しやすい職員関係を築ける。
・　自園にはない工夫や雰囲気を知り、新たな発想・新たな気持ちで子どもと関わることができる。
・　区の公立・私立の幼稚園教諭・保育士等との貴重な意見交換の場となる。
・　カンファレンスの進め方や参加者への配慮など自園の公開保育を行う際の参考になる。
・　コロナ禍で人数制限や感染症対策など配慮を要するが、年に数回グループワークなどをして、対話を重ねていきたい。
・　教育・保育要領等をしっかりと読み幼児教育・保育への理解を深めたい。
・　スタートカリキュラムの参考となった。